



# おかやま環境ネットワーク

NO.92  
2018.7

# NEWS

発行:公益財団法人おかやま環境ネットワーク  
〒700-0026 岡山市北区奉還町1-7-7  
TEL/FAX 086-256-2565  
E-mail:kankyounet@okayama.coop  
HP:http://www.okayama.coop/kankyounet/

## 『2017年度助成活動報告会』開催報告

- ◆日時：5月12日（土）13時～14時、オルガ
- ◆参加：26名
- ◆内容：2017年度助成8団体による、活動報告がありました。  
活動報告後、各団体への質疑応答を行い、参加者の理解を深める場となりました。

- ①特定非営利法人里海づくり研究会議  
「沿海岸域における物質循環促進技術の開発～無脊椎動物群のうち堆積物食者による物質的循環機能評価手法の検討～」
- ②NPO 法人共存の森ネットワーク  
「アマモ場再生で形成される日生の食文化の伝承」
- ③岡山理科大学附属高等学校科学部  
「旭川流域河川の底生動物を利用した水環境調査」
- ④あかいわ美土里の和  
「里山再生プロジェクト」
- ⑤千年の森づくりグループ  
「豊かな美咲町自然・環境、人づくり！」
- ⑥おかやまコープ美作エリア  
「バイオマス産業杜市『真庭』に学ぶ環境保全活動」
- ⑦つやま演劇教育研究会  
「演劇を介したクールチョイスの周知・促進」
- ⑧あかいわエコメッセ  
「第19回あかいわエコメッセ（環境企画展）」



つやま演劇教育研究会

### ◆参加者の感想など

- ・身近なところで様々な活動が行われていることが分かり大変良かったです。初めて聞く言葉もたくさんあり、勉強になりました。参加者の皆さんの熱い思いが伝わってきました。
- ・子ども向けの環境活動から、高度な研究まで、多岐にわたる活動団体に助成を行っている事を知った。
- ・県下の環境を守る団体の活動内容を知ることができました。参考になる点も、たくさんありました。
- ・自分達の活動からは見えない環境への考え方を考えることができた。自分がこれから岡山県外で活動していくに当たって参考になるものが多く、実りが多いものとなった。
- ・継続した取り組みの結果を聞いて良かった。ここで（助成申請を）終了されるのは残念だけど、引継ぎされているとのことなので安心しました。今後の取り組みを楽しみにしています。
- ・質疑・応答が充実していた。
- ・これらの活動が、社会に対してどれほどのインパクトを与えているのか分かり辛い報告が少なくなかった。

### ◆2019年度助成事業募集のご案内

- ・募集期間：11月1日～12月7日午後5時必着
- ・募集要項と提出書類（要望書・団体紹介表）のフォーマットは、HPに掲載します。お早目にご相談、ご提出下さい。



岡山理科大学附属高等学校科学部

## 代表理事就任のご挨拶

### 野上 祐作

この度、青山勳氏の代表理事退任に伴い、新たに、私、野上が代表理事に就任することになりました。青山氏同様、皆様方のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

おかやま環境ネットワークは、2013年4月に公益財団法人に移行し5年が経過いたしました。そして、まもなく設立20周年の節目を迎えようとしています。その間、県内に存在する大小さまざまな環境保全活動団体への活動助成金の交付並びに団体間の交流事業をはじめ、市民を対象とした環境講座・環境シンポジウムの開催など様々な事業を展開してまいりました。

2011年の4月には、第1回（1999年）～第10回（2008年）までの助成活動報告を取りまとめた「おかやま環境ネットワークがささえた環境保全活動」と題する冊子を刊行致しました。

一口に環境保全活動といっても、その関心事は時代とともに様変わりしてまいります。若い方々にとって、今や、大気・水などに関する環境問題は関心が薄れているのではないのでしょうか。

かつて、児島湖の水質汚濁問題は、岡山県の大きな環境問題でした。岡山県は、「湖沼法（湖沼水質保全特別措置法）」に係る水質改善計画の策定、それに伴うさまざまな対策を行ってまいりました。

その甲斐あってか、環境基準はいまだ達成されてはいませんが、児島湖の水質はそれなりに改善されてきました。また、ダイオキシン問題、環境ホルモン問題などもあまり騒がれなくなりました。このような環境問題がマスコミなどで取り上げられることが少なくなったのは、それだけ私たちをとりまく環境が改善されてきたと考えてもよいのかもしれませんが。

現在、県内の環境保全活動への取り組みとしては、生物、とりわけホタルの保護などに関するものが活発であります。5月の後半から梅雨にかけて夕闇を舞うホタルを復活させようという試みは、その地域の環境を考えるうえで素晴らしいことです。だからと言って、昔、飛んでいなかった地域にまでホタルを飛ばそうというのは少し考えものです。

また、里山・里海に関する関心も広まっています。私たちの生活様式が焚き木からガス・電気に依存するようになり、里山の手入れは必要でなくなりまし



野上 祐作 氏

た。豊かだった生きものの多様性が失われつつあります。イノシシやシカなどの野生の生き物とのトラブルも多発するようになりました。

なによりも、子どもの頃の楽しい遊び場が消失しました。今の子供たちに昔の楽しかった遊びを体験させたいと、元気な高齢者が取り組んでいるのが現在の里山です。海についても昔のようにアマモが繁る豊かな藻場を再生しようという取組みが日生漁協の皆さんを中心に進められています。

一方、生活・暮らしにおける環境意識の向上を図る活動への取り組みも進んでいます。例えば、地球温暖化の原因物質である二酸化炭素の排出削減を試みる環境家計簿の作成などであります。時代の潮流として、世界各国で化石燃料から太陽光、風力などの自然エネルギーへの転換が進んでいます。他方、メガソーラーによる生態系への影響といった問題も生まれています。

私たちは、自然と共生するかしこい生き方を身につけ、持続可能な社会を維持していかなければなりません。そのためにも地域社会に貢献する「おかやま環境ネットワーク」の果たす役割は大きいと考えられます。20周年に向かって、第11回（2009年）～第20回（2018年）の助成活動報告を取りまとめながら、皆さんと共に今後の進み方を考えていきたいと思っております。

### 野上 祐作 氏

1943年生まれ

- ・岡山理科大学理学部名誉教授
- ・公益財団法人おかやま環境ネットワーク代表理事
- ・私立大学環境保全協議会顧問等
- ・医学博士（岡山大学）

# 代表理事退任のご挨拶

青山 勳

皆様におかれましては、ますます御清栄の事とお慶び申し上げます。平素は格別の御厚情賜り、厚くお礼申し上げます。

さて私儀6月の総会を持ちまして、岡山環境ネットワークの代表理事を辞任することとなりました。在任中は大過なく過ごせましたこと皆様の一方ならぬご協力の賜とお礼申し上げます。

思えば 2001年に理事就任以来、初代理事長の後任として理事長の役目を仰せつかり13年になります。この間理事、評議員、環境ネットワークの皆様には色々お世話になり有り難うございました。思い出は多々あり、一言では言い尽くせません。

おかやま環境ネットワークとの関わりは、ある日生協の方が私の勤める倉敷の研究室を訪ねて来られたことによります。環境問題を市民の立場から考える団体を立ち上げたいので委員の一人に入ってほしいとの依頼でした。3年の準備期間の活動を経てNPO法人おかやま環境ネットワークが発足しました。当所は、毎月1回は理事会を開いていたように思います。

2013年にNPO法人化が認定されました。法人化を巡ってはいろいろ議論がありました。小さなNPOも大きなNPOも同じルールに従うのは一寸解せない点がありました。法人化の行政手続きには事務局の榎崎さんにずいぶんお世話になりました。法人化後も事業は順調に進みました。

環境ネットワークは色々な事業を行ってきたますが、その多くが市民と共同するものでした。一つに減少しつつあるホタルの保護運動です。県下に40余ある保護の活動団体です。2002年に「ホタル連絡会」を立ち上げ、ホタルの飼育法、餌の与え方、良好な生育環境などホタルに関する勉強会を続けました。ホタルは良好な環境で生息する事から環境の状況を反映する生物であり、それは良好な水環境のシンボルです。そして2003年から毎年ホタルフォーラムを開催し、2010年にはこれらの成果を集約する「ホタルと人と文化」という冊子を上梓しました。また環境保護に係わる市民活動に対する助成事業があります。これと類似した活動として里海でのアマモを保護する活動があります。

おかやま環境ネットワークは環境問題の全て扱っているわけではないですが、このままに放置すれば自然は、環境は破壊されます。環境を守るのも、破壊する



青山 勳氏

のも人間の考え次第であります。自然には、環境にはそれぞれの生きる法則があります。それぞれとその周辺である環境とは、「自然」の法則を守って初めて保存されます。ホタルの保存もアマモの保存も必ずしも専門の研究者が指導しているわけではありませんが、市民がお互いに教えあい、学びあって保護しているのです。市民による自然、環境はこの様にして保護されるのです。他にも市民のための環境講座や環境家計簿の普及や体験プログラム等啓発事業があります。

活動には経費が掛かります。これにはNPOの立ち上げから全般に渡って生協の支援なくしてあり得ません。課題の一つは、これらの環境グループのメンバーの高齢化が事業の継続を困難にすることです。この問題は、どんな市民グループにも共通で、絶えず考えておかなければなりません。その他にもネットワークの主催する事業は多数ありますが、いずれも市民が関心を持つ事業であり、共に活動する事が重要です。

現在の課題は、「持続可能な開発目標 (SDGs)」です。次の世代に考えるべきはFD(フューチャー・デザイン)です。SDGsは具体化した課題を表したものと思われる。FDは、より根源的な、哲学的な問題を言い表しているように思います。

ネットワークはまもなく20周年を迎えます。20年を一区切りとして又次の20年を目指してより一層の発展を願い、新しい領域の具体化を願って止みません。

## 青山 勳氏

1943年生まれ

- ・岡山大学名誉教授
- ・元岡山大学副学長
- ・岡山大学研究推進産学連携機構参与
- ・公益財団法人おかやま環境ネットワーク理事
- ・(特活)岡山県国際団体協議会理事長
- ・工学博士(京都大学)



# 『笠岡・見崎海岸アマモ種子採取』

## ～市民のための環境講座② アマモ再生教室～

### 参加者募集

お申し込んだ方には、別途詳細案内を郵送します。

- ◆日時：8月7日（火）10時00分～12時00分
- ◆集合場所：見崎公会堂（笠岡市見崎847）
- ◆内容：再生活動の説明、アマモ種取り作業  
 9時30分～受付  
 10時00分～開会・アマモの状況報告  
 10時25分～作業（海岸で作業します）  
 11時45分～片づけ  
 12時00分～終了（解散）
- ◆定員：50名  
 ※応募者多数の場合は抽選（おかやま環境ネットワーク個人会員を優先）。抽選結果及び当選者には詳細案内を郵送。
- ◆応募資格：小学生以上（未就学児の場合、安全管理上のため未就学児一人につき保護者一人の付添い必須：申込書で確認できない場合は抽選対象外とさせていただきます）、高校生以下は保護者同伴。
- ◆申込：7月24日（火）まで。下記参加申込書をFAX、Eメール、郵送いずれかで事務局までご提出を。申込後のキャンセルはご遠慮ください。



イメージです

- ◆参加費：無料
- ◆雨天決行、警報発令時等は中止。
- ◆予定時間は前後する場合があります、予めご了承ください。
- ◆持ち物・駐車場所等、詳細は、当選者にご案内を郵送。
- ◆昼食は、必要な方は各自ご準備下さい。
- ◆主催：（公財）おかやま環境ネットワーク



◆お申込は 公益財団法人おかやま環境ネットワーク

〒700-0026 岡山市北区奉還町1-7-7（オルガ6階）

Fax：086-256-2565 E-mail：kankyounet@okayama.coop

携帯電話：070-2355-1420

※お寄せいただく個人情報は当財団事業以外の使用や第三者への開示などには行いません。

..... 切り取り（FAXの場合必ず切り取ってください） .....

### 8/7『笠岡・見崎海岸 アマモ種子採取』参加申込書

代表者	フリガナ氏名	年齢	歳	電話番号		
				携帯番号		
	環境ネットワーク2018年度個人会員ですか(※1)			はい(会費納付済)・いいえ・入会希望		
	住所	〒				
	フリガナ氏名	年齢	歳	フリガナ氏名	年齢	歳
	フリガナ氏名	年齢	歳	フリガナ氏名	年齢	歳

※1：環境ネットワーク2018年度個人会員入会希望の方は、申込完了までに年会費を納付ください。

詳しくはHPをご覧ください。事務局にお問合せください。

※参加者は、保険加入します。参加者全員の年齢を必ず記入ください。

# 『大野川・川あそびとそうめん流し』

～自然豊かな御津の清流・大野川流域での川あそび企画です！～

## 参加者募集

- ◆日時：8月18日（土）10時～13時
- ◆場所：大野公会堂（岡山市北区御津大野）周辺河川敷
- ◆内容：『川あそびとそうめん流し』川に入り、生き物など探します。魚等を採る網があれば持参を。昼食にそうめん流しをします。
- ◆定員：30名  
※応募者多数の場合は抽選、おかやま環境ネットワーク個人会員を優先します。抽選の結果は郵送します。
- ◆申込：8月3日（金）必着で下記参加申込書を郵送、FAX、Eメールのいずれかでお申込ください。申込後のキャンセルはご遠慮ください。
- ◆応募資格：小学生以上の方、未成年者は保護者同伴、大人のみ参加可、野外活動可能な健康な方。
- ◆参加費：1人500円（そうめん流し代）
- ◆主催：大野川いい川づくり  
御津の「緑」と「清流」を守る会  
公益財団法人おかやま環境ネットワーク



イメージです

- ◆集合場所：岡山市北区御津大野野公会堂  
※現地集合、駐車場は現地で案内します。
- ◆雨天決行、警報発令時等は中止。
- ◆持ち物等：長袖・長ズボン、帽子、よごれてもよい運動靴（長靴やサンダルは不可、脱げにくい靴）、靴下、軍手、筆記用具、タオル、水着（現地の状況を見て、安全と判断したら水着でも可）、帰りの着替え・靴等（よごれものを入れる袋も）、水筒（飲みものを必ず各自でご準備ください）※魚等を採る網、バケツ、カゴがあれば持参ください。  
※必ず各自で帽子やタオル、水筒持参など、日焼けや熱中症対策等を十分をお願いします。



◆お申込は 公益財団法人おかやま環境ネットワーク  
〒700-0026 岡山市北区奉還町1-7-7（オルガ6階）  
Fax：086-256-2565 E-mail：kankyounet@okayama.coop  
携帯電話：070-2355-1420  
※お寄せいただく個人情報は当財団事業以外の使用や第三者への開示などには行いません。

..... 切り取り（FAXの場合必ず切り取ってください） .....

### 8/18『大野川・川あそびとそうめん流し』参加申込書

代表者	フリガナ氏名	年齢	歳	電話番号	
	環境ネットワーク2018年度個人会員ですか(※1)			はい(会費納付済)・いいえ・入会希望	
	住所	〒			
フリガナ氏名	年齢	歳	フリガナ氏名	年齢	歳

※1：環境ネットワーク2018年度個人会員入会希望の方は、申込完了までに年会費を納付ください。  
詳しくはHPをご覧ください。事務局へお問合せください。  
※保険に加入しますので、参加者全員の年齢を記入してください。

# 『里海 Satoumi』20年の歩み～振り返りと将来展望～

## 〈開催主旨〉

“里海”とは、1998年に九州大学の柳哲雄教授によって提唱され、「人手が加わることで生物多様性と生産性が高くなった沿岸海域」と定義されました。2006年には「里海論(柳, 2006)」が出版され、“里海”という言葉と概念は、2007年6月の「21世紀環境立国戦略」、同年11月の「第3次生物多様性国家戦略」、2008年3月の「海洋基本計画」等に盛り込まれています。また、2018年5月15日に閣議決定された第3次海洋基本計画においても、「高い生産性と生物多様性が維持されている“里海”の経験を沿岸域の総合的管理等に積極的に活用」が明記されました。

“瀬戸内海生まれ日本発”の“里海”は、2006年の世界閉鎖性海域環境保全会議(EMECs7)で“Sato-Umi”として紹介されて以来、国際的にも注目を浴び、Satoumi Workshopが盛んに開催されるようになり、アメリカ合衆国やフランス、インドネシア、アフリカ諸国など世界各地に広がっています。“里海”が誕生して20周年を迎えた今、我が国を代表する“里海”づくりに奔走する様々な立場の人達が世代や地域、立場を越えて一堂に会し、「世界に発信する日本の“Satoumi”」について考えます。

# 『里海』生誕二十周年 記念シンポジウム

### 基調講演Ⅰ：柳哲雄氏

“里海”という言葉と概念の生みの親。沿岸海洋学、気象・海洋物理の専門家。海洋観測入門、海の科学、里海論、里海創生論など著書多数。里海づくりに世界各地を奔走中。国内外に広がった里海の歴史を辿り、これからの里海づくりを考える。



柳哲雄氏

### 基調講演Ⅱ：釣田いずみ氏

海洋政策研究財団の研究員時代にICM(Integrated Coastal Management)モデルサイトとして岡山県日生町を担当。東京大学に移籍後も6年以上にわたり日生の里海について研究。



釣田いずみ氏

### ：備前市立日生中学校+岡山学芸館高校

備前市立日生中学校は2013年から、岡山学芸館高校は2017年から、アマモ場再生活動に漁師達とともに取り組み、一生忘れられないインパクトある貴重な体験に。子ども達が新鮮な感覚で捉えた里海づくりの姿を表現する。

### 基調講演Ⅲ：太田義孝氏

ワシントン大学 Research Assistant Professor。専門は社会人類学、海洋管理に関わる公共政策。世界各地の海で現地調査と資源管理の学際的研究に従事。“海の未来”を予測するネレウスプログラムを、自然科学と社会科学をつなぐ政策ディレクターとして統括する。



太田義孝氏

**日時** 2018年8月25日(土) 9:00~17:00 (8:30開場)

**場所** 備前市立日生市民会館 岡山県備前市日生町 日生241-87

**参加費** 無料

**その他** 全体終了後、日生町漁業協同組合2階で意見交換会(17:30~、会費3,000円・事前申込み)を開催します。

**申込み** 8月17日(金)までに裏面「参加申込書」により郵送・FAX・メールでお申込み下さい。(お弁当は、事前申込みです。)

- 主催：NPO法人里海づくり研究会議・(公財)おかもやま環境ネットワーク
- 共催：環境省・生活協同組合おかもやまコープ・備前市里海里山ブランド推進協議会 with ICM
- 後援：国土交通省中国地方整備局・岡山県・備前市・瀬戸内市・岡山市・玉野市・浅口市・笠岡市・真庭市・岡山市ESD推進協議会
- 協賛：瀬戸内かきがらアグリ推進協議会(事務局:JA全農おかもやま)





◆ プログラム ◆  
\* 敬称略

- 9:00-9:10 歓迎のことば 田原隆雄/備前市長  
 9:10-9:20 開会あいさつ 松田 治/NPO法人里海づくり研究会議理事長・広島大学名誉教授  
 山本郷史/環境省水・大気環境局水環境課閉鎖性海域対策室長  
 9:20-10:00 基調講演Ⅰ「『里海 Satoumi』20年の歩み」  
 柳 哲雄/NPO法人里海づくり研究会議副理事長・九州大学名誉教授・  
 (公財)国際エメックスセンター特別研究員  
 10:00-11:00 基調講演Ⅱ「備前市日生“アマモとカキの里海”から見えるもの」  
 釣田いずみ/独立行政法人 国際協力機構(JICA)  
 備前市立日生中学校+岡山学芸館高等学校  
 11:00-11:10 <休 憩>  
 11:10-12:00 基調講演Ⅲ「国際社会における里海の位置付けと役割」  
 太田義孝/ワシントン大学 助教授  
 12:00-13:00 <昼食・休憩>  
 13:00-15:00 [全国各地の里海からの事例紹介]  
 13:00-13:20 <宮城県志津川湾>「震災と漁業再生～いのちめぐるまちのカキ養殖～」  
 太齋彰浩/(一社)サステナビリティセンター 代表理事  
 13:20-13:40 <東京湾>「官民連携で盛り上げる里海づくり・東京湾」  
 古川恵太/NPO法人海辺づくり研究会 理事  
 13:40-14:00 <三重県志摩市>「御食国を支える里海の創生」  
 浦中秀人/志摩市政策推進部里海推進室 室長  
 14:00-14:10 <岡山県備前市>「森里川海をつなぐ里海づくり～里海からの発信～」  
 天倉辰己/日生町漁業協同組合 専務理事  
 14:10-14:30 <香川県>「かがわの里海づくり」  
 中西正光/香川県環境森林部環境管理課 里海グループ課長補佐  
 14:30-14:50 <沖縄県恩納村>「恩納村の里海づくり～サンゴの村宣言について～」  
 山城正巳/恩納村漁業協同組合 代表理事組合長  
 14:50-15:00 <休 憩>  
 15:00-16:40 パネルディスカッション「これからの里海づくりを考える～世界に発信する日本の“Satoumi”～」  
 コーディネーター: 鷲尾圭司/(国研)水産研究・教育機構 理事(水産大学校代表)  
 パネリスト: (前出)太齋彰浩・古川恵太・浦中秀人・天倉辰己・中西正光・山城正巳  
 柳 哲雄・釣田いずみ・太田義孝  
 16:40-16:50 閉会あいさつ(まとめ)  
 田中丈裕/(公財)おかやま環境ネットワーク理事(里海づくり推進部会長)・  
 NPO法人里海づくり研究会議理事(事務局長)  
 [司会] 片山了介/NPO法人里海づくり研究会議

◆「昼食のご案内」◆

- ・昼食用にお弁当を事前予約で承ります。里海米や日生の食材を使用したこだわりのお弁当です。一食 1,000円(税込)
- ・会場受付で食数分をお支払い下さい。引換券をお渡し致します。
- ・午前の基調講演終了後に受付で引換させていただけます。
- ・なお、会場周辺にはお食事処やコンビニもございますが、短時間に大勢の皆様の対応はご迷惑にもなります。ご配慮下さい。

◆「駐車場のご案内」◆

- ・備前市立日生中学校の校庭を開放いただきます。
- ・開放時間8:00～17:30
- ・駐車中の事故等について、主催者として一切の責任は負いません。ご了承の上でご利用ください。

参加申込書 『里海』生誕20周年記念シンポジウム(2018年8月25日開催)

ふりがな お名前 (代表者)	(参加総数 名)		ご所属 団体名		
参加予定	一日	午前のみ	午後のみ	お弁当 (事前予約のみ)	食
ご住所 (代表者)	名	名	名	名	名
		電話番号 (代表者)		意見交換会 (事前予約のみ)	名

※複数でご参加の場合、代表1名のお名前をご記入の上、カッコ内に代表者を含む総数をご記入下さい。  
 ※長時間のシンポジウムとなります。参加されるおおよその時間帯がお決まりでしたら、参加予定をご記入下さい。  
 ※お弁当の予約・意見交換会の参加の有無は、不要の場合も必ずご記入下さい。  
 ※お申込みでご提供いただいた個人情報は、この行事企画以外には使用致しません。

【FAX・メール・郵送でのお申込み】 公益財団法人おかやま環境ネットワーク 〒700-0026 岡山市北区奉還町一丁目7-7  
 TEL・FAX 086-256-2565/携帯 070-2355-1420、E-mail:kankyounet@okayama.coop

## 事業・決算報告並びに 事業計画・予算書の同封

会員の皆様におかやま環境ネットワーク「2017年度事業・決算報告2018年度事業計画・予算」冊子を同封します。

全事業の結果や決算関連書類、事業計画並びに予算書、役員名簿（2017年度）、定款等を掲載しておりますので、ご覧下さい。

## 財団役員の変更等のお知らせ

去る6月2日開催の評議員会において、2020年評議員会終結までの理事（17名）及び監事（2名）が選任されました。この期に就任・退任された役員をご紹介します。

### ●就任

- ・嶋一徹理事（岡山大学大学院自然科学研究科教授）
- ・山口一裕理事（岡山理科大学理学部基礎理学学科准教授）
- ・山田哲弘理事（岡山県環境保全事業団岡山県自然保護センター）
- ・高坂知典理事（生活協同組合おかやまコープ）

### ●退任

- ・白井浩子理事（日本科学会議岡山支部会員）
- ・梅崎一夫理事（生活協同組合おかやまコープ）

評議員会終結後の理事会において、代表理事並びに業務執行理事（2名）が選定されました。

### ●代表理事

- ・就任：野上祐作理事（岡山理科大学名誉教授）
- ・退任：青山勲理事（岡山大学名誉教授）

### ●業務執行理事

- ・就任：高坂知典理事
- ・退任：梅崎一夫理事

なお、この期に代表理事に就任された野上理事、退任された青山理事 お二方のご挨拶を2ページ、3ページに掲載しておりますので、ご覧下さい。

## 環境家計簿レポート同封のお知らせ

おかやま環境ネットワークと岡山市とが協働ですすめています「環境家計簿活動」の2017年度実績をまとめた『環境家計簿レポート』ができあがりました。会員とモニターの皆様と同封します。ご査収ください。

## ニュースへのチラシ等の同封物に関するお知らせ

おかやま環境ネットワークで年4回（5・7・11・3月発行予定）会員の皆様にニュースを発行しています。ここに、会員団体の各種イベントのチラシ等を同封することができます。

同封希望がありましたら、発行前月の第2週末までに事務局へご連絡ください。

※メールニュースは毎月第2・4水曜日を基本に発行しています。メールニュースへ掲載希望がありましたら、毎月第2・4月曜日までに原稿を事務局に送信ください。

※特に「助成団体の対象事業」に関しましては、より広くお知らせをしていきたいと考えていますので、是非ご連絡ください。

## メールニュース配信 希望者募集中

おかやま環境ネットワークの情報や、会員団体のイベント情報等を掲載しています。

配信をご希望の方は、メール

にて件名：『メールニュース配信希望』とし、メールアドレス・お名前（必須）、連絡先・所属団体・会社名（任意）をメール文にご記入の上で、右記事務局アドレスまで送信ください。現在1,300名を超えるみなさんにご登録いただいています。

## 個人・団体・企業 会員 募集中

おかやま環境ネットワークは、皆様からの会費、寄附、ボランティア活動で支えられています。ぜひ会員となり、活動をご支援ください。

### 【年会費】

個人・団体：2,000円

企業等：20,000円

大学生・大学院生・高校生：無料



2018年度会費をまだ納付いただいていない会員の皆様に振込用紙を同封しておりますので、お振込みくださいますよう、お願いいたします（入れ違いでお振り込みいただいておりますらご容赦ください）。

会費は、企業・協同組合：1口2万円、団体・NPO法人・個人：1口2千円、1口以上をお願いいたします。

## 発行：公益財団法人おかやま 環境ネットワーク

〒700-0026  
岡山市北区奉還町1-7-7(オルガ6階)  
TEL/FAX：086-256-2565  
携帯電話：070-2355-1420  
E-mail:kankyounet@okayama.coop  
HP:https://okayama.coop/kankyounet/